

平成28年度 狛江市立公民館運営審議会 答申（平成29年3月31日）

「狛江市立公民館の魅力を高め、すべての世代にわたる市民のための学習の場とするために必要な公民館事業等のあり方について」  
進捗管理一覧

番号	答申	実施（事例）分
①	<p>▼時代と地域の状況を勘案しつつ、若い世代の関心に応える事業を創造すること 例えば、少子高齢社会、ワークシェアリング、文化の情報化（IT化）、防災、消費者教育、18歳選挙権、街の中の空き家問題など、社会状況に目を向けつつ、若い世代が自身の生活から関心を持つような、あるいは持つべきことからテーマとした事業を創っていくこと。</p>	<p>▼職場体験（狛江中学1年生）において、企画書の提出依頼 ▼若い世代向けの各種講座を実施 例：「夏休み子ども・中高生スペース」、「夏休み子ども木工教室」、「歌って踊ってミュージカルを体験しよう」、「子どもの実験教室」、「子どもと楽しむ☆DIY教室」、「小さいコンピューターでプログラミングを体験しよう！」</p>
②	<p>▼事業を創造する体制を充実すること 公民館が主体性と責任をもった上で、市民の力とりわけ若い世代の力を活用して各種の事業を創り、事業や講座の運営を市民とともにすすめる体制を整えること。</p>	<p>▼事業評価シートの策定、事業評価の実施及び事業の改善 ▼田園調布学園大学と協働事業「現役大学生が企画する今から知りたい！就活・社会人マナー講座」、「現役大学生が企画するモルック体験講座」 ▼フリーWi-Fiの導入と中央公民館のフリースペース拡張を追記</p>
③	<p>▼利用時間帯の改善を検討すること 若い世代も利用しやすいような公民館の利用時間帯（貸出時間帯）の設定を工夫すること。</p>	<p>▼狛江市民センター改修基本構想に基づき、利用区分を3→4に増加（予定） ▼時間等の詳細について、利用団体に向けたアンケート調査を実施</p>
④	<p>▼施設整備にあたって、コミュニティスペースとしての機能に配慮すること 公民館は、公共としての空間に加えて、そこに集う個々人の主体性と公共性を両立・バランスさせた空間にしていくこと。</p>	<p>▼空いた施設を学習フリースペースとして活用 ▼狛江市民センター改修基本構想に基づき、フリースペースやオープンテラス、スタディコーナー等の空間を設置し、コミュニティスペースの機能を充実（予定）</p>